

山口南部地域道路概略検討業務

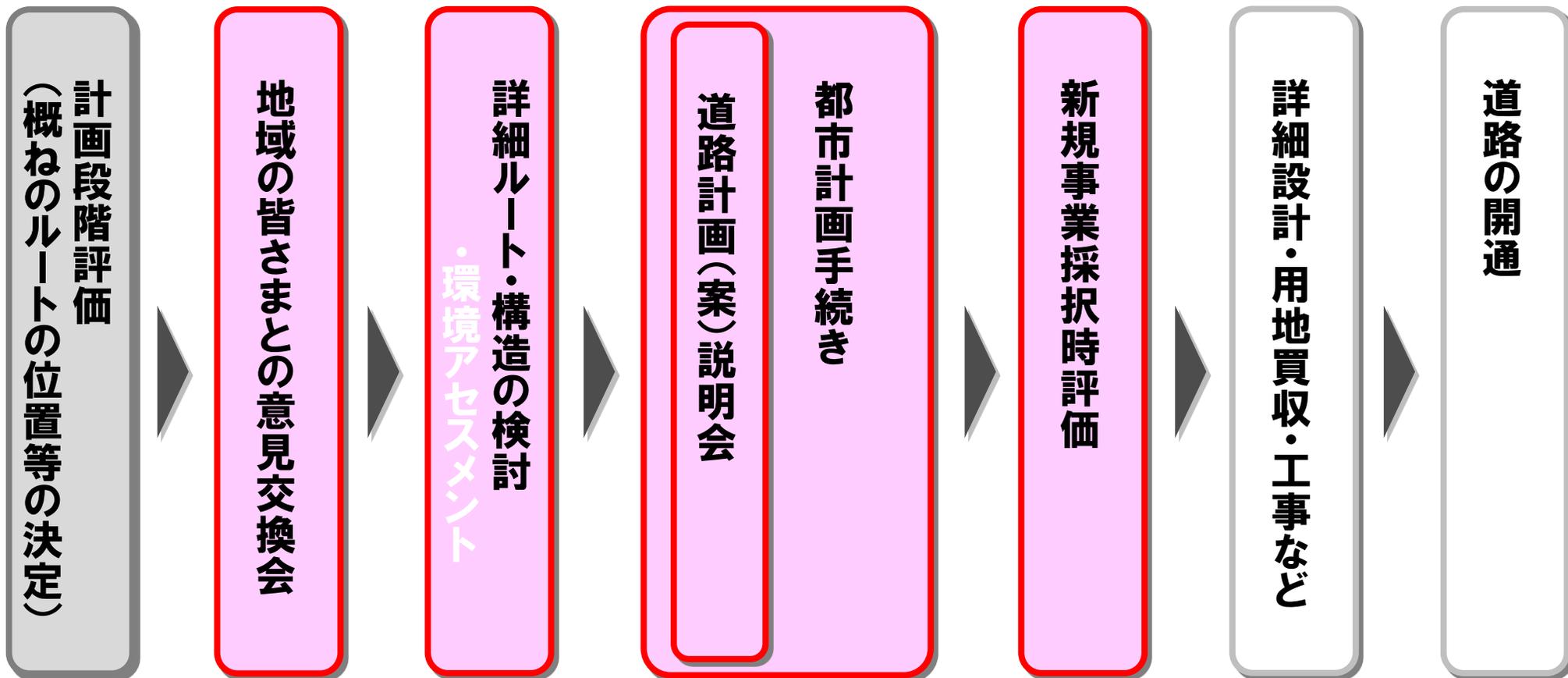
全測連中国地区協議会 第6回 土木設計関係技術発表会



復建調査設計株式会社 酒井

資料の概要

1. 本業務の位置づけ
事業評価、都市計画手続き、対象事業の概要等……P1
2. 意見交換会の支援 ……………P7
3. 詳細ルート・構造の検討 ……………P13
4. 都市計画手続きの支援 ……………P18
5. 新規事業採択時評価の協議資料 ……………P23
6. 業務実施に係る工夫等 ……………P27



1. 本業務の位置づけ

対象事業の概要

凡例

- : 主要渋滞箇所
- : その他交差点
- : 主な事業所エリア
- ☀ : 事故の発生確率が全国平均を上回る交差点・区間
- ← (赤) : 渋滞 (朝のピーク) ※渋滞長調査結果 (H27. 12. 3)
- ← (青) : 越波による全面通行止め
- (青) : 全面通行止め日時 (通行止め時間)

平成22年交通量: ● 日交通量(台/日)



災害の状況



事故の状況



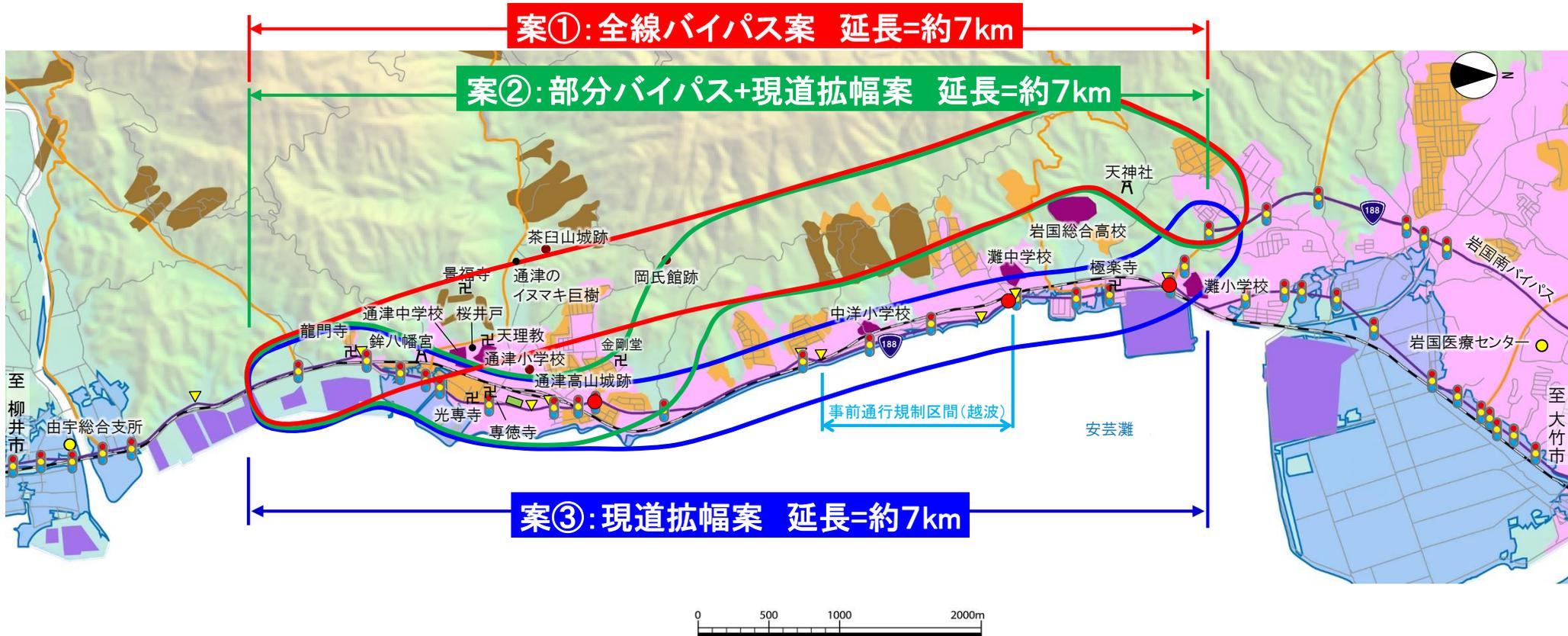
産業の状況



災害の状況



○計画段階評価において、国道188号の渋滞区間や災害・事故などの現道課題を解消、及び南側の工業団地へのアクセスを考慮するなど、目標を達成させるためのルート帯案が検討されていた。



案①: 全線バイパス案



沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案

案②: 部分バイパス+現道拡幅案



事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、残る区間の現道を4車線に拡幅する案

案③: 現道拡幅案



現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案

1. 本業務の位置づけ

対象事業の概要

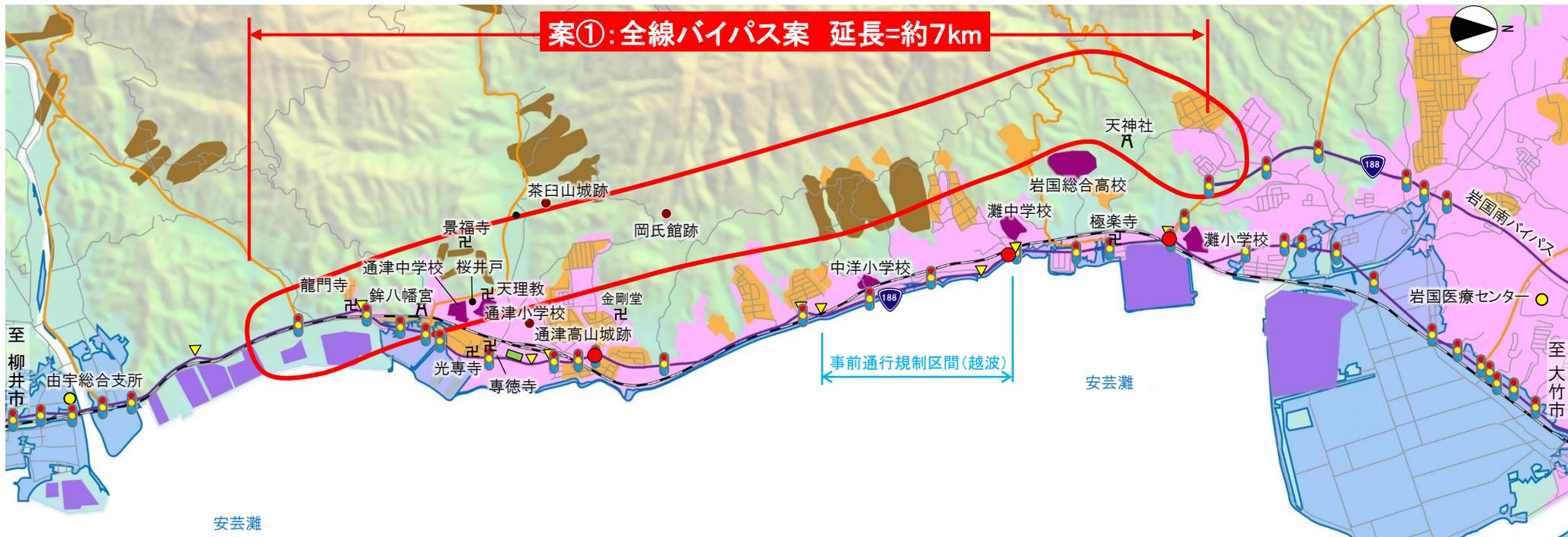
評価ポイント	【案①】全線ハイパス案	【案②】部分バイパス+現道拡幅案	【案③】現道拡幅案
	沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案 一般道歩道有り 延長 約7km	事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、残る区間の現道を4車線に拡幅する案 一般道歩道有り 延長 約7km (バイパス約5km, 現道拡幅約2km)	現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案 一般道歩道有り 延長 約7km
① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	○ ・速達性が向上	○ ・速達性が向上	○ ・速達性が向上
② 渋滞が緩和できること	○ ・バイパスに現道の交通が転換し、 <u>現道の渋滞が最も緩和</u>	△ ・バイパス部は、現道の交通がバイパスに転換し、現道の渋滞が緩和 ・現道拡幅部は交通処理能力が向上し、渋滞が緩和 ・信号交差点が残り、案①より速度が低下	△ ・現道拡幅により交通処理能力が向上し、渋滞が緩和 ・信号交差点が残り、他案より速度が低下
③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること	○ ・信頼性・速達性が向上	○ ・信頼性・速達性が向上	○ ・信頼性・速達性が向上
④ 交通事故が起きにくいこと(国道188号)	○ ・渋滞に起因する現道の交通事故が減少	○ ・渋滞に起因する現道の交通事故が減少	○ ・渋滞に起因する現道の交通事故が減少
⑤ 歩行者の安全性が確保されること	△ ・ <u>現道の歩道については現状のまま(一部未整備)</u> ・現道の交通がバイパスに転換し、 <u>現道の歩行者の安全性が向上する</u>	△ ・ハイパス部の現道の歩道については現状のまま(一部未整備)だが、現道拡幅部については歩道が確保される	○ ・全ての区間で歩道が確保される
⑥ 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること	○ ・通行規制の回避可能	○ ・通行規制の回避可能	○ ・通行規制の回避可能(越波対策必要)
⑦ 津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること	○ ・通行規制の回避可能	△ ・バイパス部において通行規制の回避可能 ・現道拡幅部において通行規制の回避ができない可能性有り	× ・通行規制の回避ができない可能性有り
⑧ 自然環境への影響が少ないこと	△ ・バイパス部は土地(地形)を新たに改変する範囲が大きい ため、配慮が必要	△ ・バイパス部は土地(地形)を新たに改変する範囲が大きい ため、配慮が必要 ・現道拡幅部は土地(地形)を新たに改変する範囲が小さい	○ ・現道拡幅部は土地(地形)を新たに改変する範囲が小さい
⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと	○ ・交通がバイパスに転換するため、 <u>現道沿線の生活環境への懸念が小さい</u>	△ ・現道拡幅部は、現道沿線の生活環境への懸念が大きい	△ ・全線現道を拡幅するため、現道沿線の生活環境への懸念が大きい
⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと	○ ・約180軒	△ ・約220軒	× ・約400軒
⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと	○ ・バイパス部工事のため、 <u>現道の交通規制が少ない</u>	△ ・一部現道の国道を拡幅するため、交通規制が多い	× ・現在の国道を拡幅するため、交通規制が最も多い
⑫ 建設に要する費用が安いこと	○ ・約270~320億円	△ ・約290~340億円	× ・約410~460億円(越波対策費を含む)
⑬ 維持管理に要する費用	△ ・道路を新設し、管理する延長が増えるため、 <u>維持管理費用は現道拡幅案より高い</u>	△ ・一部道路を新設し、管理する延長が増えるため、 <u>維持管理費用は現道拡幅案より高い</u>	○ ・現在の道路を改良するため、維持管理費用は他案より安い
⑭ 道路利用者に対して良好な景観を確保すること	○ ・バイパス部は山際を整備するため、 <u>見晴らしの良い可能性あり</u>	△ ・バイパス部は山際を整備するため、 <u>見晴らしの良い可能性あり</u> ・現道拡幅部は現状のまま	△ ・越波対策により、海辺を望む景観の良さが現在より低下

○:改善、△:一部改善、×:課題が残存又は他案より劣る

1. 本業務の位置づけ

対象事業の概要

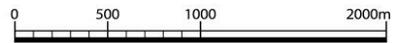
○比較評価の結果、全ての道路整備による効果・改善点(事業の目標)の改善が見込め、工事中の交通規制の影響が少ない、生活への影響が少ないなど配慮すべき点について総合的に優れていることから、ルート帯(案)については【案①:全線バイパス案】を選定された。

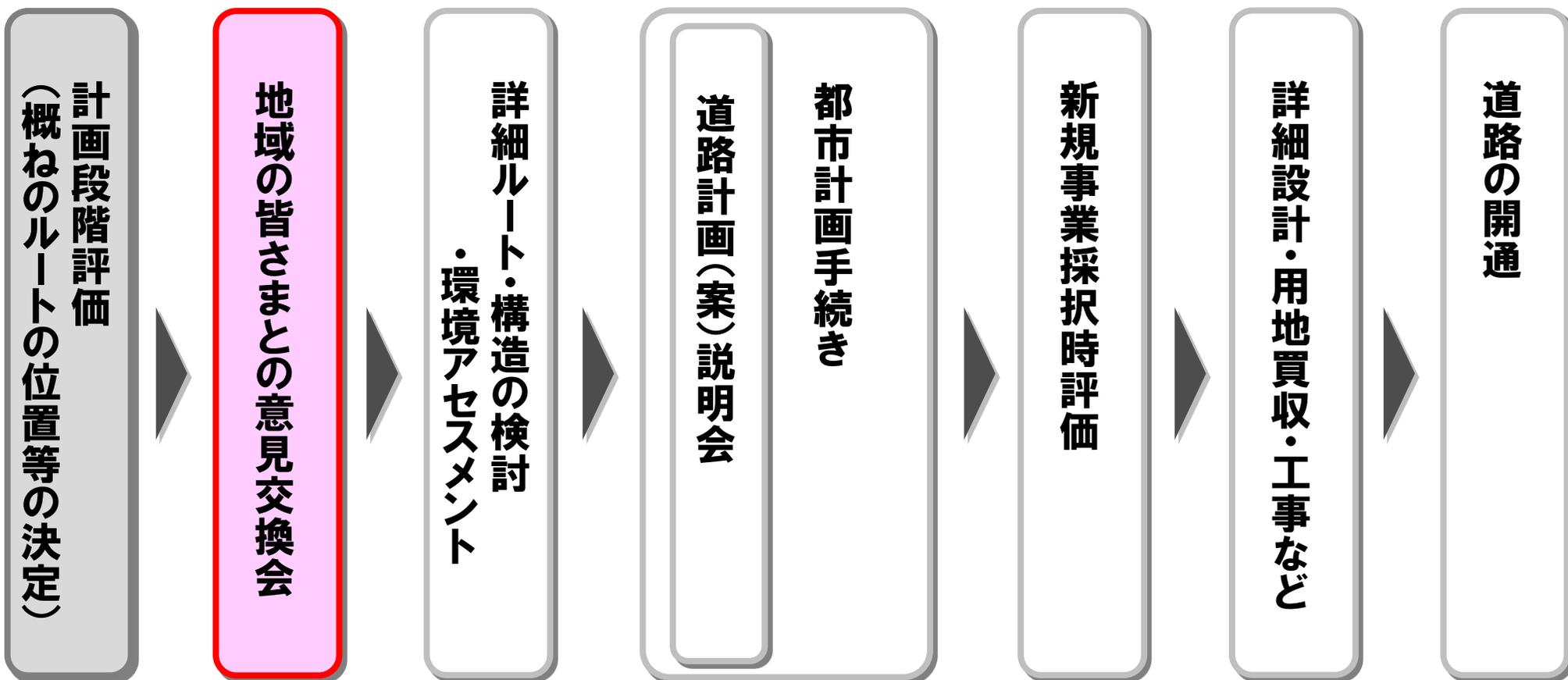


案①:全線バイパス案 延長=約7km

事前通行規制区間(越波)

凡例			
	一般国道		小・中学校・高校
	一般県道		住宅団地
	主要施設		住居専用地域・住居地域・商業地域
	主要渋滞箇所		工場
	平面線形不良箇所 (R ≤ 150m)		津波浸水想定区域
	縦断線形不良箇所 (i > 5.0%)		地すべり警戒区域
	信号		神社・仏閣・文化財





○詳細なルートを検討していくにあたって、地域にとってより良い道路とするために、地域の皆さまのご意見を伺う意見交換会を開催。

■開催案内チラシ

国道188号岩国市(藤生～長野付近)の道路計画を地域の皆さまと考える意見交換会開催のお知らせ

これまでの検討経緯

国土交通省では、国道188号(藤生～長野付近)の道路改良に関する計画検討を行っております。これまでにアンケート調査等を実施し、地域の皆さまからのご意見等も踏まえ、全線バイパス案ルート帯(幅約500m)を決定しました。

計画対象区間



道路事業の流れ



意見交換会の目的

今後、詳細なルートを検討する上で、地域にとってより良い道路とするために、皆さまが大切だと思われることなどをお聞かせください。

※今回の意見交換会は、詳細ルートを決定するものではありません。また、今後のスケジュールを示すものでもありません。

意見交換会への参加方法

裏面に記載している場所・日時で開催を予定しております。事前受付等はありませんので、直接現地会場までお越しください。なお、会場の席には限りがございます。場合によっては他の日時・会場をご案内させていただくこともありますので、ご理解をお願いいたします。



お問い合わせ先
・意見交換会に関すること → 国土交通省 山口河川国道事務所 計画課 TEL 0835-22-1819
・会場に関すること → 岩国市 都市建設部 都市計画課 TEL 0827-29-5006

開催目的

○詳細なルートを検討していくにあたって、**地域にとってより良い道路となるように、**

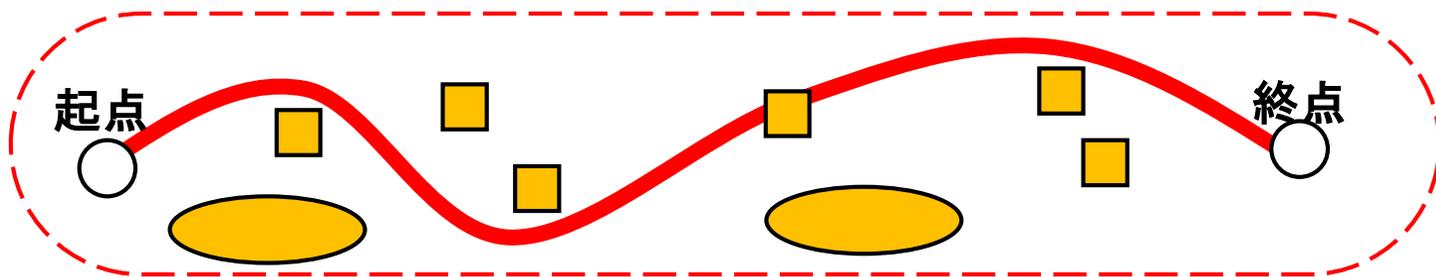
○地域のどのようなところに配慮して道路の計画を進めていくのか、

○**地域の皆様と一緒に把握する。**

○ 詳細なルートを検討していくにあたって、地域にとってより良い道路とするために、地域の皆さまのご意見を伺う意見交換会を開催。

① 地域の重要な施設・箇所等について

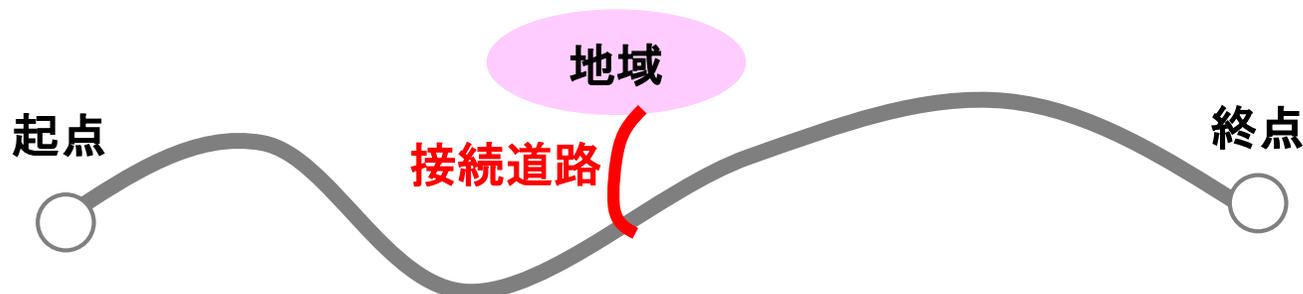
➡ 道路を計画する上で地域全体にとって避けた方がよい施設や箇所は？



避けるべき施設： 
避けるべき箇所： 

② バイパスと地域との接続について

➡ どのような事を考慮して接続道路を整備すべきか？



※具体的に、どこに接続道路を整備すべきかというものではありません



○市民同士で、個々の立場を越えて道路計画を見据えた創造的な話し合いを行いました。

概要説明の様子（通津供用会館）



意見交換の様子（灘供用会館）



意見交換の様子（由宇文化会館）

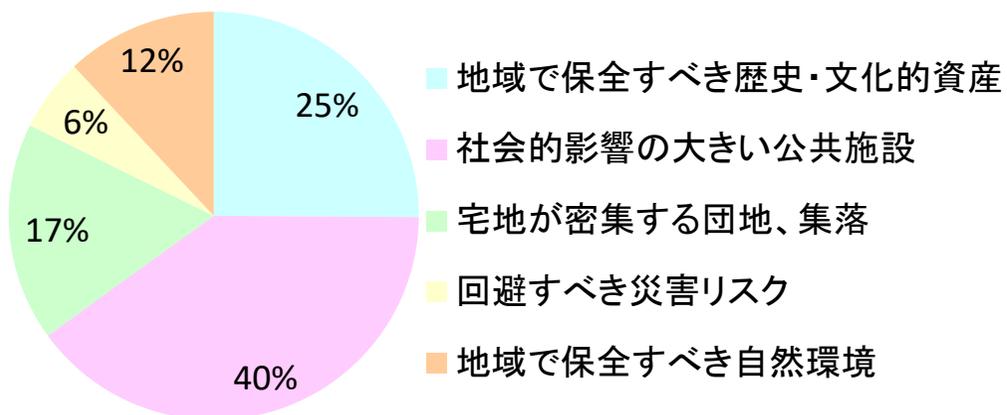


意見発表の様子（岩国市役所）

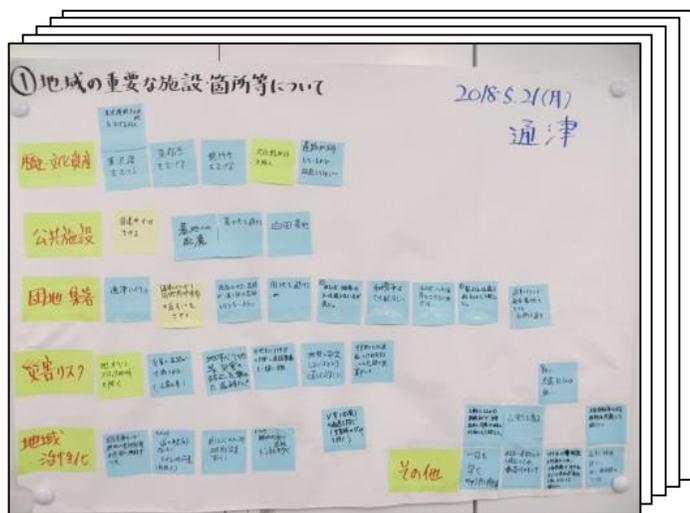


○地域の重要な施設・箇所等については、社会的影響の大きい公共施設や地域で保全すべき歴史・文化的資産に関して多くのご意見がありました。

①地域の重要な施設・箇所等について



意見数：243



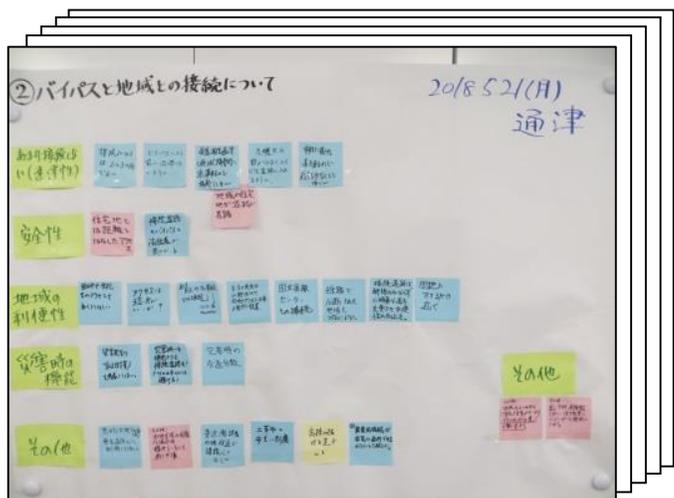
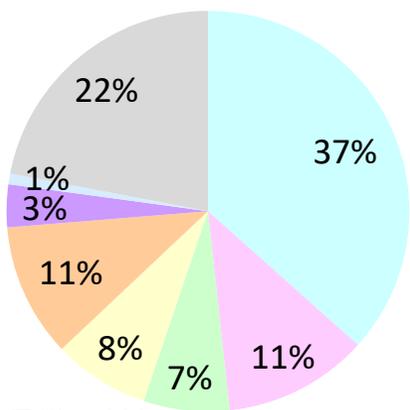
意見交換会結果（通津供用会館）

項目	主な意見
地域で保全すべき 歴史・文化的資産	■文化財・史跡、■神社・寺院
社会的影響の 大きい 公共施設	■学校、幼稚園、■自治会館、 ■医療、福祉施設、■駅、■配水池、 ■道路、■お墓、■鉄塔
宅地が密集する 団地、集落	■団地・住宅、■コミュニティ・集落
回避すべき 災害リスク	■高波・津波、■土砂災害、 ■その他（霧が多い場所など）
地域で保全すべき 自然環境	■自然（滝、川、河川公園など）、 ■田畑、農地、 ■生活用水（地下水など）

○バイパスと地域との接続については、バイパスの利便性を高める接続道路や接続道路に求める機能・構造に関して多くのご意見がありました。

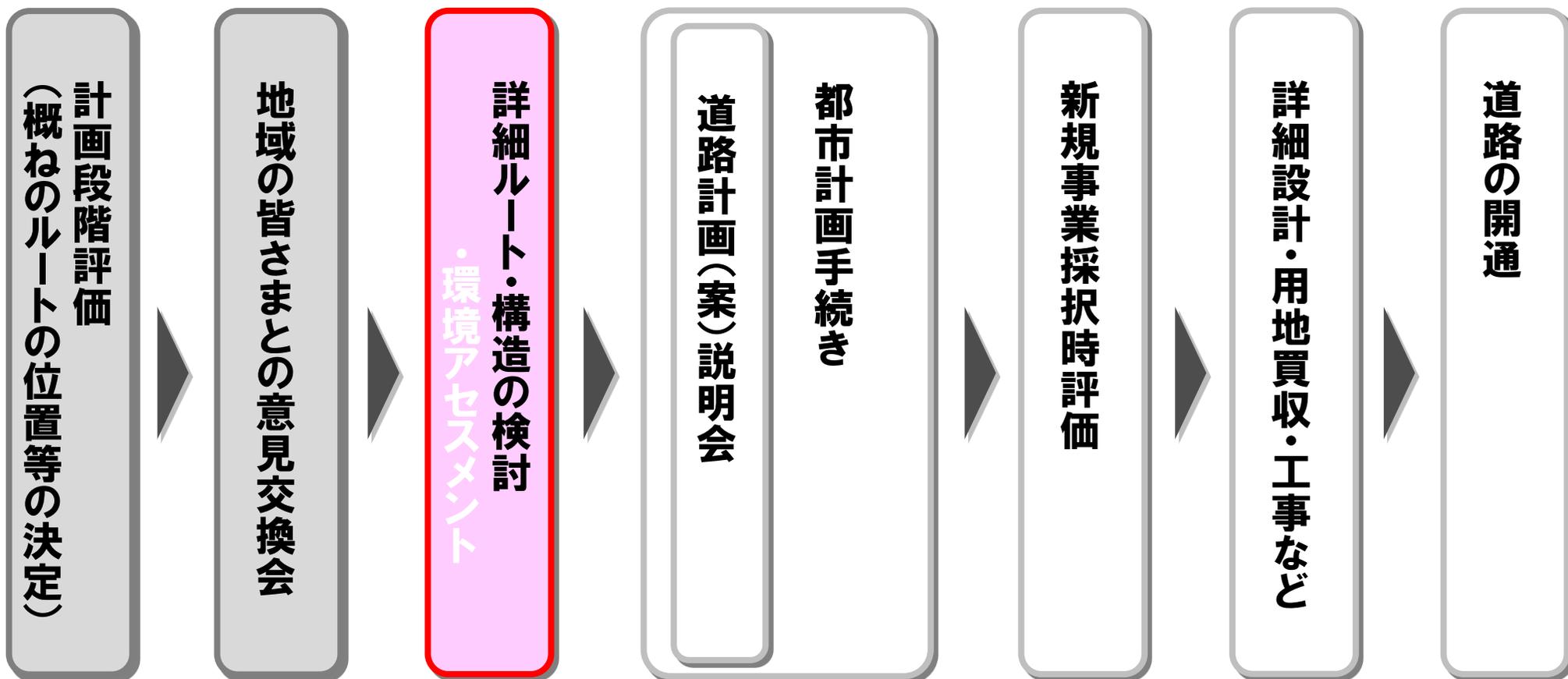
②バイパスと地域との接続について

- バイパスの利便性を高める接続道路
- バイパスの速達性を確保する接続道路
- 地域の交通安全性を確保した接続道路
- 災害時に機能する接続道路
- 地域活性化が期待できる接続道路
- 住環境の保護
- 地域の負担を大きくしない接続道路
- 接続道路に求める機能・構造

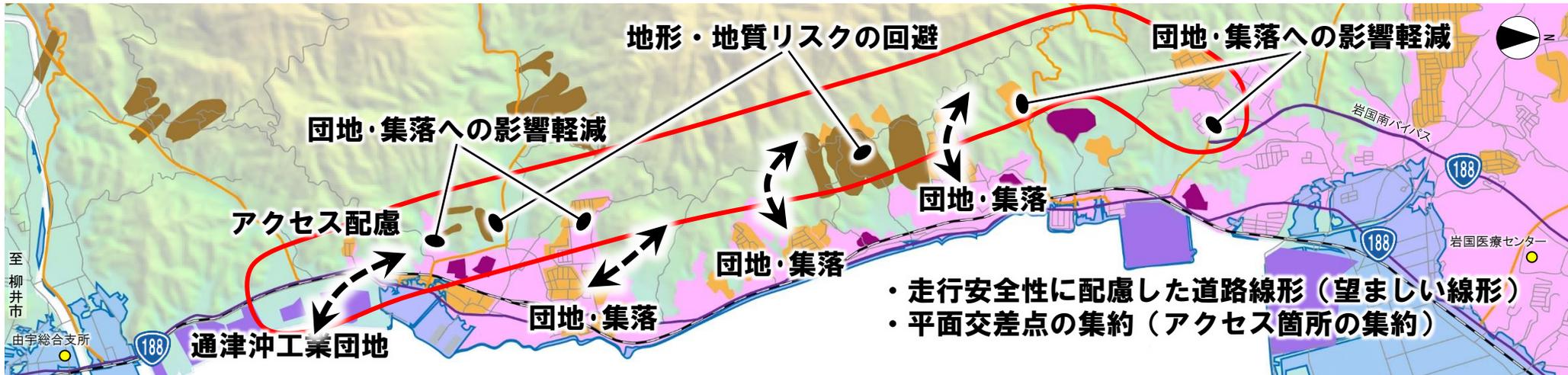


意見交換会結果（通津供用会館）

項目	主な意見
バイパスの 利便性 を高める接続道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校との接続、■ 団地との接続、 ■ 国道188号との接続、■ 駅との接続 ■ 主要な道路・生活道路との接続、 ■ 工業団地との接続
バイパスの 速達性 を確保する接続道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 接続箇所を少なく、 ■ 交差点・信号を少なく
地域の 交通安全性 を確保した接続道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 急勾配・急カーブ箇所の回避、 ■ 生活道路の安全性の確保
災害時に機能 する接続道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急車両の走行支援、 ■ 災害リスクの回避、 ■ 避難・迂回への活用、 ■ 防災施設・避難所との接続
地域活性化 が期待できる接続道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療センター跡地との接続、 ■ 定住促進、■ 文化財との接続
住環境 の保護	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活道路への影響、■ 騒音の抑制
地域の負担 を大きくしない接続道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業費の抑制
接続道路に求める 機能・構造	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全性の確保、■ 渋滞しない道路、 ■ 広い幅員の確保



○意見交換会等における皆様のご意見等も踏まえ、設計のコンセプトを設定。



政策目標

計画段階評価

- 産業振興を支援するネットワークの強化
- 交通の円滑化
- 交通安全の確保
- 災害時に強いネットワークの確保

道路整備にて配慮すべき事項

アンケート・意見交換会

- 団地や集落の回避及びアクセス性向上
- 文化財や神社など歴史・文化施設の回避
- 学校や駅など公共施設の回避
- 環境（生活、自然）等への配慮
- 建設費や維持管理費の削減

設計コンセプト

走行安全性に配慮した道路線形

平面交差点の集約（アクセス集約）

通津沖工業団地とのアクセス配慮

団地,集落からのアクセス性配慮

地形・地質リスクの回避

歴史・文化・公共施設の回避

生活環境（団地,集落）への影響軽減

コスト縮減（構造物の縮小）

道路計画の専門的見地を踏まえ詳細ルート等を決定

- ルート計画の基本条件として、道路規格や幅員構成を道路構造令より決定。
- 車線数は交通状況を踏まえ2車線の一般道。

● 道路規格

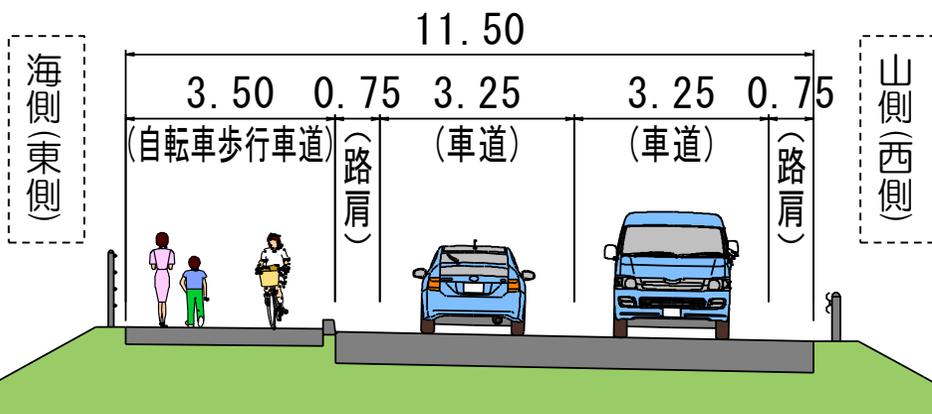
道路規格	第3種第2級(一般道)
設計速度	60km/h
標準幅員	11.5m

道路構造令

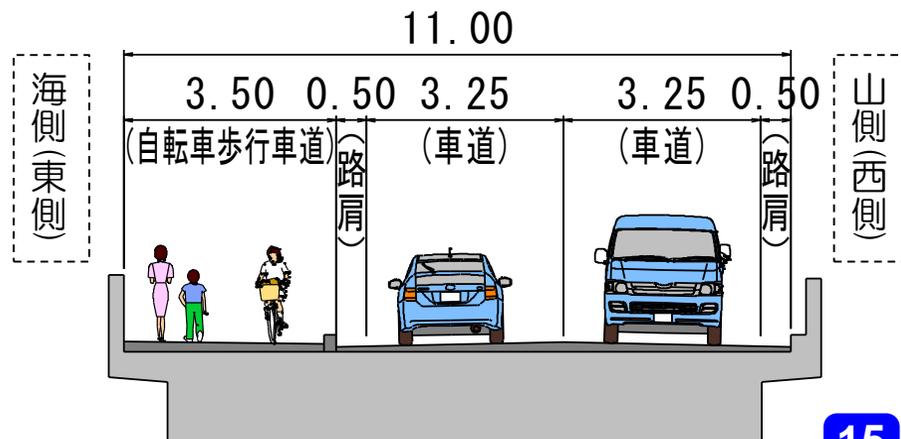
必要な道路機能や自然的・外部的条件に対応して、様々な交通の走行性や安全性を確保できる道路基本構造の一般的な基準を定めたもの。

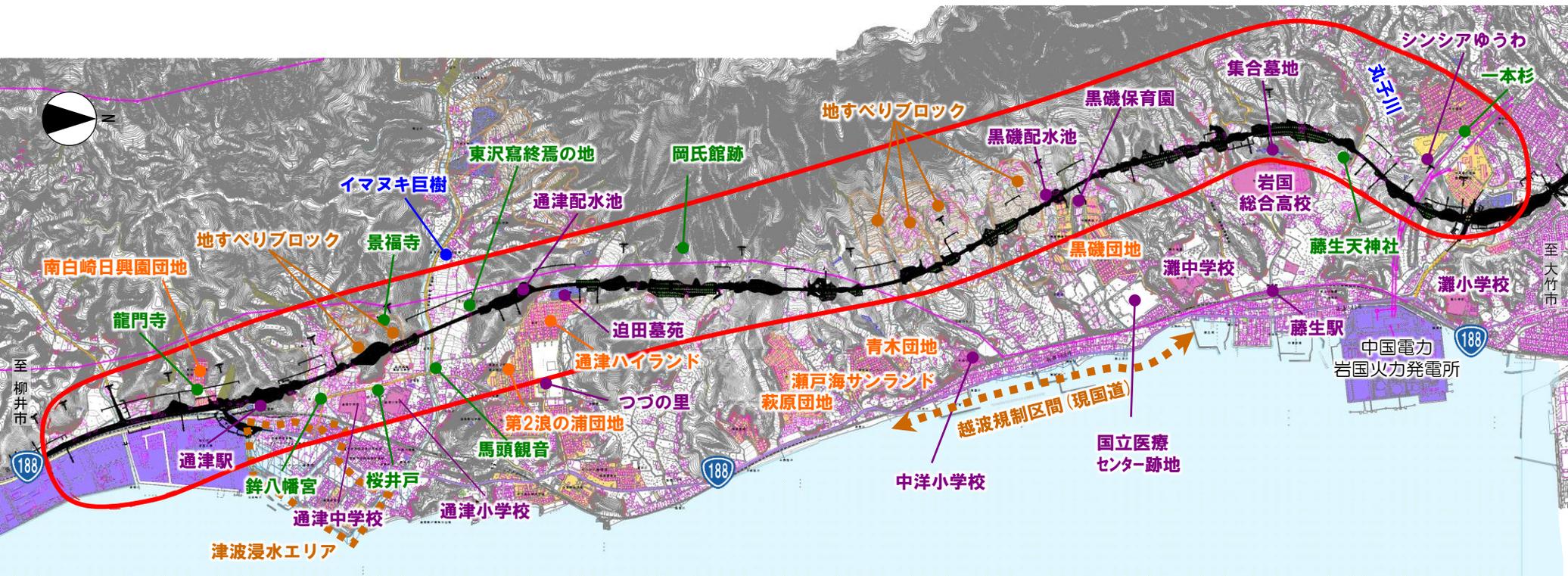
● 幅員構成図 (単位：メートル)

[標準部]

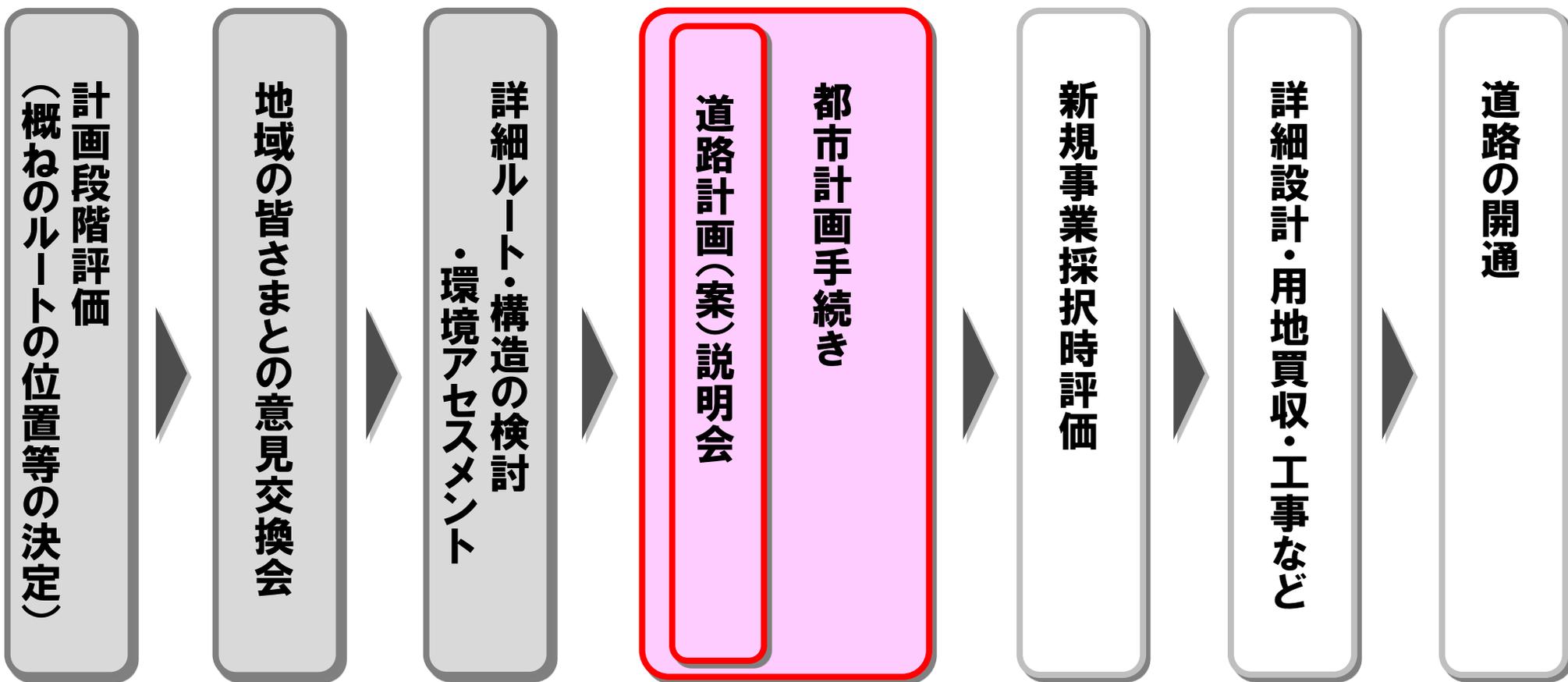


[長さ50m以上の橋梁]





- 避けたほうが望ましい公共施設
- 避けたほうが望ましい災害リスク
- 避けたほうが望ましい自然環境
- 避けたほうが望ましい団地
- 住居地域（集落）
- 避けたほうが望ましい歴史・文化的資産



○意見交換会の意見を踏まえた道路計画(案)及び都市計画決定までの手続きの説明を行ったうえで、質疑応答を実施。

国道188号岩国市(藤生～長野付近)に係る道路計画(案)説明会のお知らせ

山口県、岩国市

皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
 機記道路につきましては、現在、国において都市計画を進めるための調査、検討が行われており、本年5月には、沿線地域住民等と地域にとってより良い道路とするための意見交換会を開催するなど、詳細ルートの検討が行われてきたところです。
 この度、国から山口県に対して詳細ルートの案が提出されたことにより、今後、山口県においては都市計画手続きに着手する予定としております。
 つきましては、都市計画手続き開始に先立ちまして、平成30年8月現在の道路計画(案)の御説明をさせて頂きたく、裏面に記載された場所・日時により、道路計画(案)説明会を開催いたしますので、お知らせいたします。

計画対象区間



説明会開催場所・日時

説明会は、下図の4箇所で開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

開催場所・日時	
① 岩国市役所1階多目的ホール	9月15日(土) 14時～
② 津波川公民館	9月18日(火) 19時～
③ 津波川公民館	9月19日(水) 19時～
④ 由宇文化会館	9月20日(木) 19時～

左図はこれまで公表している500m幅のルート帯ですが、当日は道路計画案(案)の詳細ルートをお示しします。

～お願い～
 この「お知らせ」は、平成30年8月現在の道路計画(案)の区域により、地権者・地元自治会の皆様に配布・回覧させていただいておりますが、近所でご存知でない方がおられましたら、お声掛けくださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先
 山口県都市計画課 まちづくり推進班 TEL:083-933-3733
 岩国市都市計画課 計画班 TEL:0827-29-5161

○全4会場で実施し、延べ430名の地権者等が参加。

岩国市役所



開催日：
9月15日（土）
14時～
参加者数：
約130名

灘供用会館



開催日：
9月18日（火）
19時～
参加者数：
約140名

通津供用会館



開催日：
9月19日（水）
19時～
参加者数：
約140名

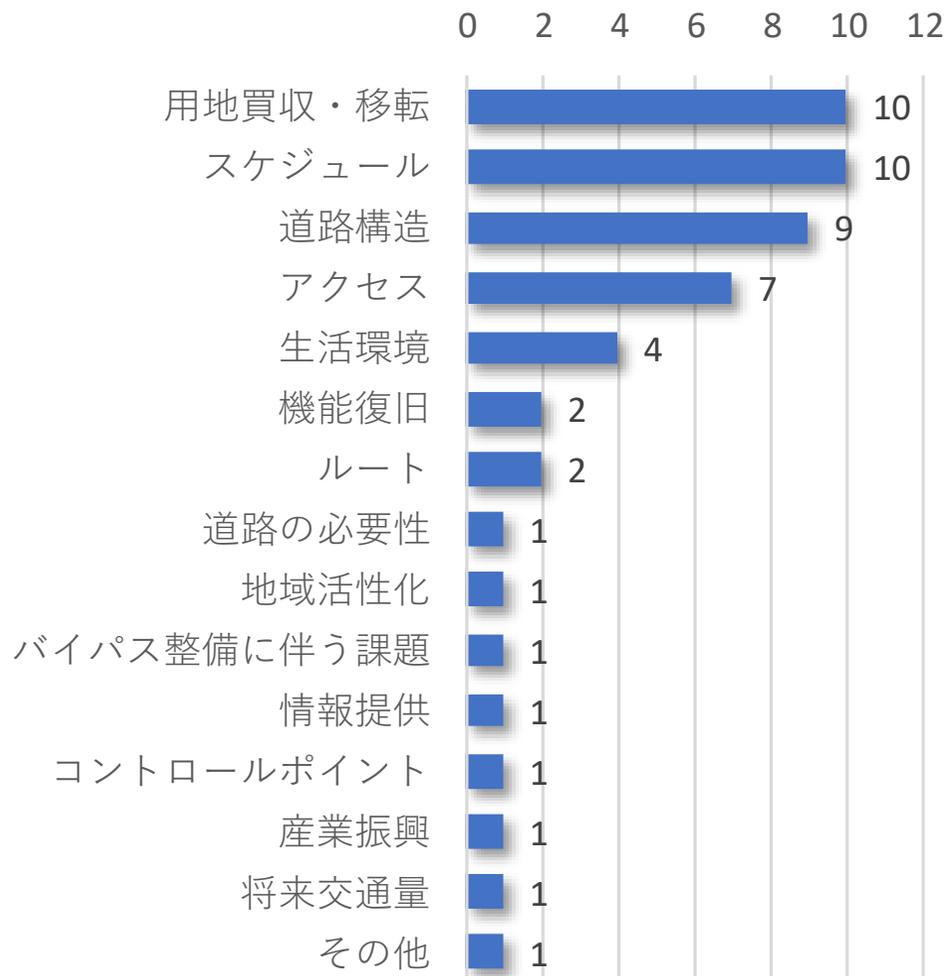
由宇文化会館



開催日：
9月20日（木）
19時～
参加者数：
約20名

○意見交換会の意見を踏まえた道路計画(案)及び都市計画決定までの手続きを行ったうえで、質疑応答を実施。

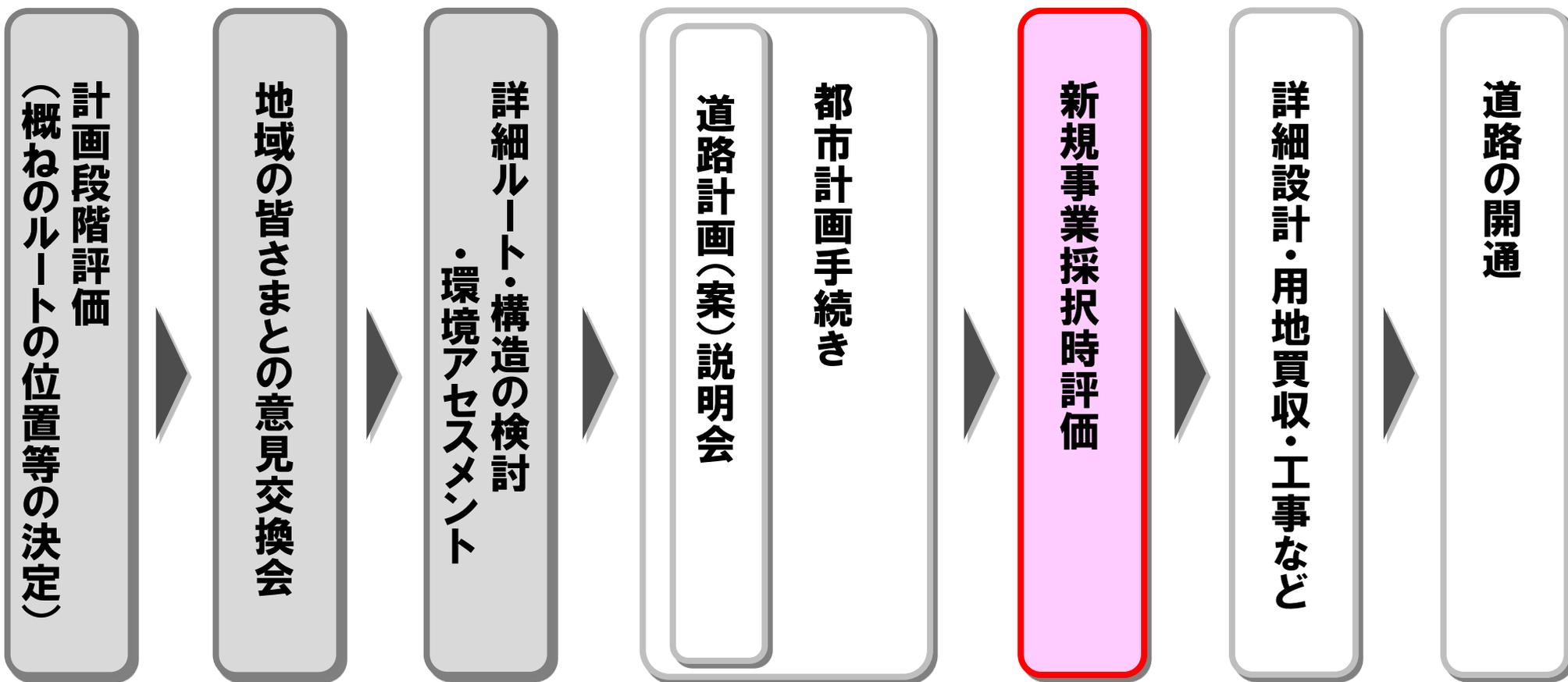
■ 質問の内容



■ 主な質問内容

項目	主な質問内容
用地買収・移転	<ul style="list-style-type: none"> ・移転しやすいように市街化調整区域を簡単に宅地変更できるようにしてもらいたい ・家がすべてなくなるというのは本当に納得いかないの見直してほしい
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・暫定でもよいので予定が聞けないか
道路構造	<ul style="list-style-type: none"> ・終点側の陸橋の高さはどれくらいか ・泉迫は住宅が密集しているが、その上を横切るような形になるのか
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の生活道路とのアクセスはどのように考えているか
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・桜井戸にきている地下水は調べられているか
機能復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼに水を引いている農業用水路がなくなるが、どうなるのか
ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・以前より私案を提出していたけど、それに対する回答はどうか

項目		協議先	主な作成資料
①	ルート確認協議	中国地方整備局,本省	ルート確認会議説明資料、説明図面 ルート計画補足資料
②-1	二級河川通津川 交差協議	山口県河川課	交差協議資料（計画図、流量計算書）
②-2	砂防河川保津川交差、地す べり防止区域、土砂災害警 戒区域協議	山口県砂防課	砂防河川交差協議資料 地すべり防止区域等確認協議資料
②-3	保安林協議	山口県森林整備課	保安林位置確認協議資料
②-4	埋蔵文化財協議	山口県社会教育文化財課 岩国市教育委員会	埋蔵文化財等確認協議資料
②-5	県道交差協議	山口県道路整備課	交差協議図書（計画概要書、交差点処理 図、チェックリスト、需要率計算書、現 地写真集）
②-6	公安委員会協議	山口県警交通規制課	交差協議図書（計画概要書、交差点処理 図、チェックリスト、需要率計算書、現 地写真集）
②-7	準用河川及び普通河川 交差協議	岩国市河川課	交差協議資料（計画図、流量計算書）
②-8	市道交差協議	岩国市道路課	交差協議資料（計画図、機能復旧方針資 料）
②-9	J R近接施工協議	J R西日本広島支社	近接施工協議資料
③	都市計画法第23条第6項 の規定に基づく関係図書	中国地方整備局 路政課 /道路計画課/道路管理課 /交通対策課	申請図書、都市計画幅決定方針資料、機 能復旧方針資料、管理区分図資料等



- 一般国道188号藤生長野バイパスは、延長7.6km、設計速度60km/h、完成2車線で、事業費約320億円。
- 平成31年2月に都市計画決定。

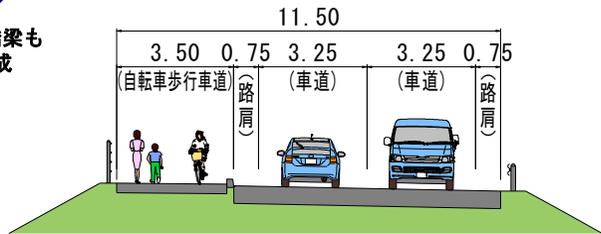
事業位置図



標準断面図

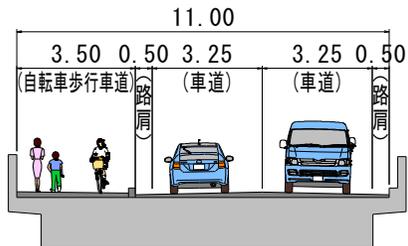
土工部

※L=50m未満の橋梁も同様の幅員構成



橋梁部

※L=50m以上の橋梁



計画概要

起終点	山口県岩国市藤生町～山口県岩国市長野		
計画延長	延長 7.6km		
設計速度	60km/h		
車線数	完成2車線		
計画交通量	約10,600 ～	乗用車	小型貨物
	16,200台/日	約10,400台/日	約3,100台/日
全体事業費	約320億円		

○現道の渋滞緩和、事故減少、災害に強い道路ネットワークの確保等。



整備効果

【渋滞の緩和】

当該道路の整備により、**速達性の高い道路ネットワークが形成**される

現道の交通が当該路線に**転換**することにより、現道で発生している**渋滞の緩和**が期待される

【地域産業活動支援】

当該道路の整備により、**岩国ICや岩国港とのアクセスが向上**される

工業団地から岩国ICや岩国港への**時間短縮**により**物流の効率化**がなされ、また、**災害時には代替路として機能**することで、**地域産業の活性化**が期待される

【通津沖工業団地～岩国ICにおける所要時間】
現況 41分 → 整備後 33分(約8分短縮)

【走行性・安全性の確保と死傷事故の減少】

当該道路の整備により、**安全で快適な走行環境**が形成される

当該路線を走行することで**現道の線形不良箇所を回避**した走行が可能となり、また、交通の転換により現道の**渋滞が緩和**するため、**死傷事故の減少**が期待される

【死傷事故件数】
現況 55件 → 整備後 39件(16件[約3割]減少)

【災害等に強い道路ネットワークの確保】

当該度往路の整備により、**現道の代替路として機能**する道路が整備される

現道が越波や交通事故により**通行止め**になった際には当該道路が代替路となり**大幅な迂回が解消**することで、**住民生活や企業活動を担う道路ネットワークの確保**が期待される

【由宇地区～岩国市中心部 災害等の迂回ルート】
現況 70分 → 整備後 24分(約46分短縮)

【由宇地区～岩国市中心部 脆弱箇所の回避】
現況 事前通行規制区間 1.0km及び現況津波浸水想定区間 0.4km → 整備後 0km

○全体事業費の総費用は246億円、3便益による総便益は383億円で費用便益比は1.6

▶投資効果(3便益による費用便益比)

(億円)

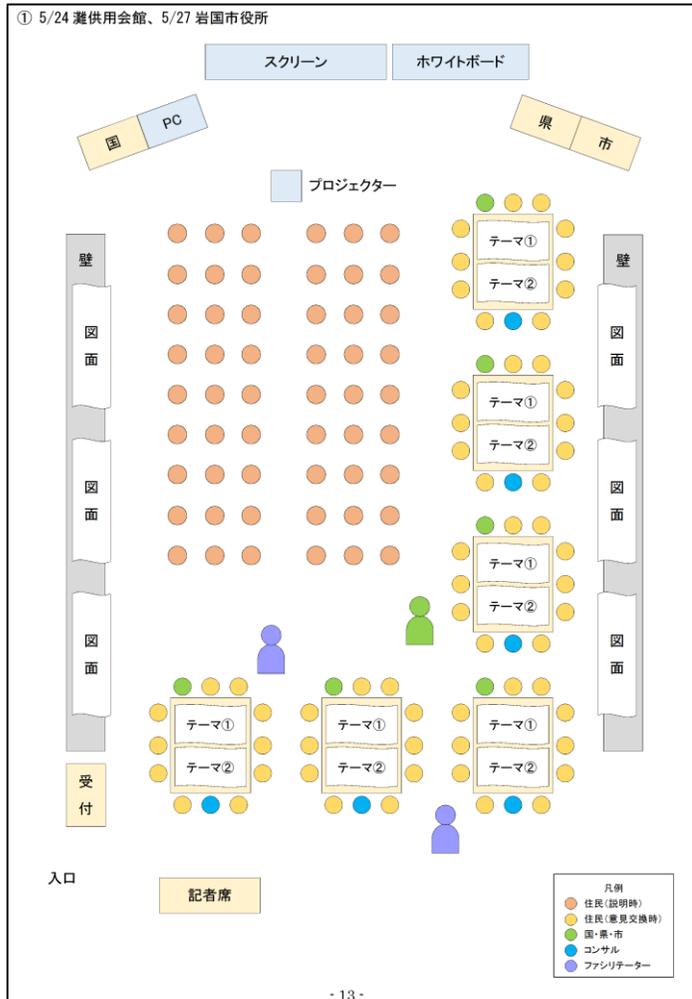
項目	全体事業
費用 (C)	246
事業費	229
維持管理費	17
便益額 (B)	383
走行時間短縮便益	354
走行経費減少便益	26
交通事故減少便益	3
費用便益比	1.6

経済的内部収益率 (EIRR)	6.7%
------------------------	-------------

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

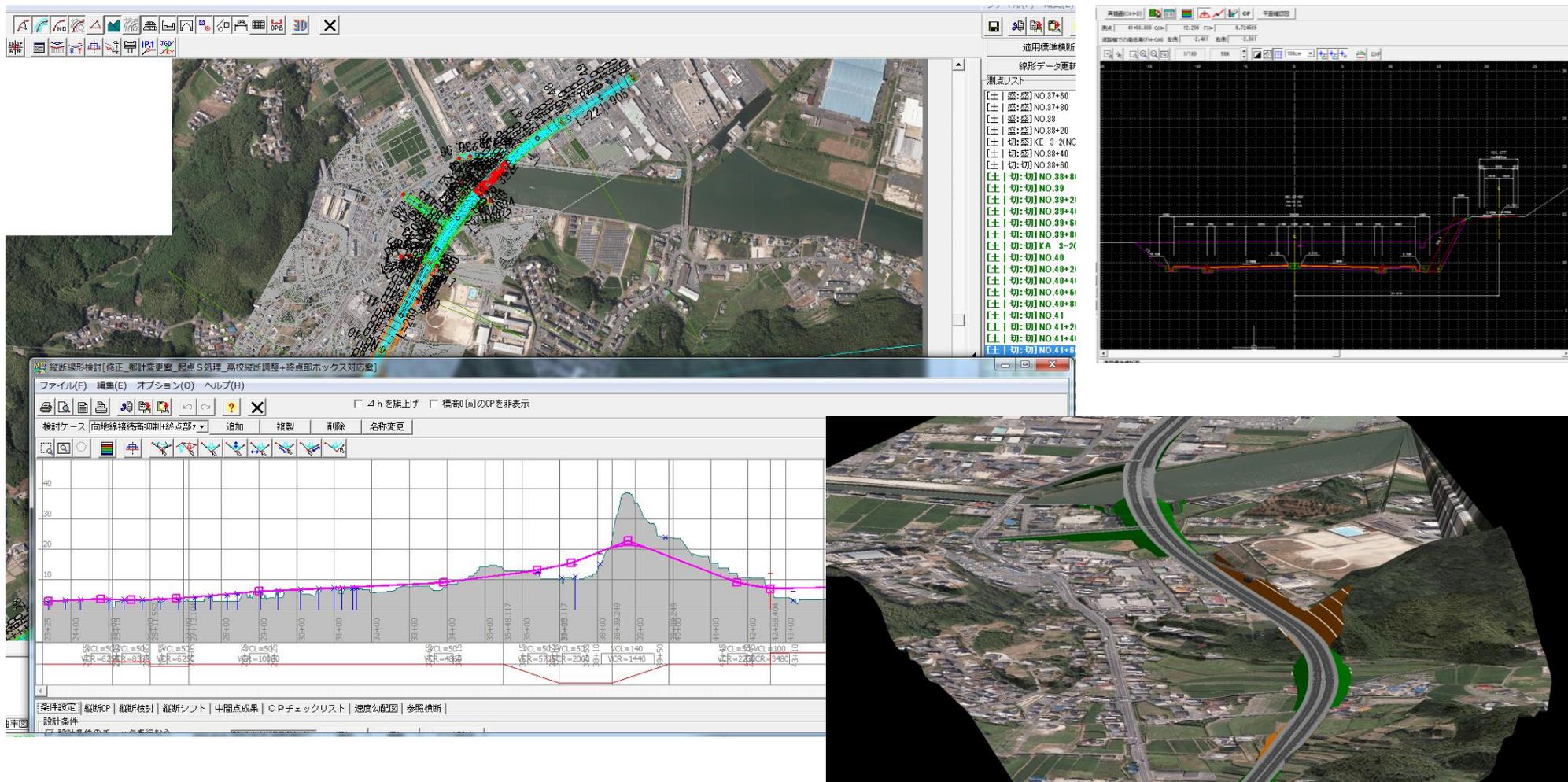
※総費用、総便益については、基準年（H30年）における現在価値を記入。
 ※総便益には、3便益（走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益）
 ※費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

○適切なコミュニケーションにより新規事業化までの検討・支援を円滑に実施。
 →地域住民等を対象にしたワークショップや都市計画説明会等のコミュニケーションを円滑に実施
 →コミュニケーションでの結果と対応方針をスピーディに検討・とりまとめることにより、大きなトラブル無く、都市計画、新規事業化までを本業務で支援



○迅速に対応するために3次元設計システムを活用。

→短い期間での対応が必要となったため、平面縦断コントロール、交差道路との取合いを考慮した合理的な設計が可能となる3次元設計システムを活用



○今後の事業を円滑に進めるための意見の整理。

→住民説明会、都計説明会、公聴会、個別での意見とその際の回答内容等について、一覧表と詳細な内容(個票)を冊子形式で整理

1. 引継ぎ意見・要望 一覧

分類③ 生活環境				
資料No	種別	区分	質問・要望	回答
1-7	住民説明会	通津 供用会館
1-8	住民説明会	通津 供用会館
1-9	都計説明会	若国市役所
1-10	都計説明会	若国市役所
1-11	都計説明会	通津 供用会館
1-12	都計説明会	通津 供用会館
1-13	都計説明会	通津 供用会館

分類④ バイパス整備に伴う課題				
資料No	種別	区分	質問・要望	回答
1-14	住民説明会	通津 供用会館

分類⑤ 用地買収・移転				
資料No	種別	区分	質問・要望	回答
1-15	住民説明会	若国市役所

1. 引継ぎ意見・要望 一覧

分類⑥ 道路構造				
資料No	種別	区分	質問・要望	回答
1-16	住民説明会	若国市役所
1-17	住民説明会	通津 供用会館
1-18	住民説明会	通津 供用会館
1-19	都計説明会	通津 供用会館

分類⑦ 用地買収・移転				
資料No	種別	区分	質問・要望	回答
1-20	都計説明会	通津 供用会館

2. 引継ぎ意見・要望 個票

2) 公聴会

【資料No.2-4】 高架構造によるアクセスの複雑化について ③ 第582号

分類	内容
ルート	...

■山口県の考え方

回答内容

■今後必要な対応及び時期

必要な対応等	実施時期
○回答の公表	-

■対応の記録

時期	対応内容

長野交差点～現国道交差点

終点～長野交差点

2-2-1496

2. 引継ぎ意見・要望 個票

2) 公聴会

【資料No.2-5】 高架構造によるアクセスの複雑化について ③ 第582号

分類	内容
ルート	...

■山口県の考え方

回答内容

■今後必要な対応及び時期

必要な対応等	実施時期
○回答の公表	-

■対応の記録

時期	対応内容

長野下公会堂

2-2-1497

○その他（積極的な対応）

- ・都市計画のスケジュールを踏まえ設計協議、関係機関協議などの時期や内容を積極的に提案
- ・追加指示にもその都度社内全体として体制を拡充させ柔軟に対応
- ・道路計画部門と道路設計部門が綿密な連携を行い迅速・柔軟に対応

御清聴ありがとうございました